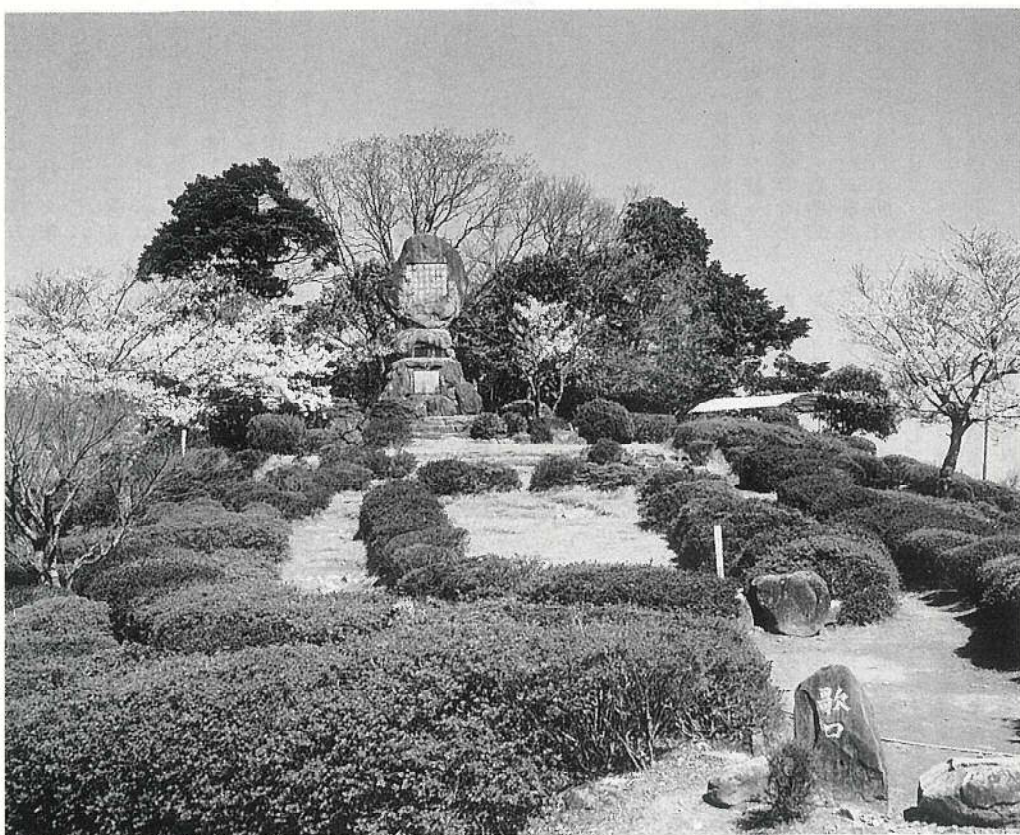




春には桜やつつじが咲きほこる歌垣公園（白石町）

22

1991.1

本年もどうぞよろしく

平成3年新春

頂き会員相互の懇親と郷愁或はボランティア活動に、同じ故郷を持つ人々がこの会を通じて意義ある存在になります。事は誠に喜ばしく思え、感謝に耐えません。今後この輪を広げ若い会員の方々の良き相談相手になり得る親睦団体に成長させたいと念願していますので何卒宜しくお願い申し上げます。九州の中心都市



会長
金子 宜嗣

諸工業の候補地として又、福岡の活発な工業生産力の充実に伴い今後も福岡市及びその周辺の流入人口は急激に増加して行き佐賀県西北地域は地下鉄併合JＲ線による交通体系の整備充実と既に一部開通のマイカー高速二〇二号線も今年は愈々全線開通となりまして、お互いに隣県同志が通勤圏となりそれぞれの接点を

ではありますが、これらをいろんな観点から探求し両地域の親善に何かのお役に立ちたいと念願致しております。会員の皆様方にも何卒格別のご協力をお願いを申し上げます新年のご挨拶と致します。

謹んで新春をお慶び申し上げます。福岡市に在住の佐賀県人会の皆様にはご家族と共に平成三年を迎えられ、気分も新たにそれぞれお仕事の発展に或は充実した老後の楽しい毎日を、お過ごしのことと存じお慶び申し上げます。当県人会もお陰を持ちまして五百数十名の方々に賛同を得て御入会

福岡は二十一世紀に向かっていろんなビッグプロジェクトが次々と新興して参りましたが、今年は更に我国を代表する自動車産業が進出し、これの関連企業群も力強く進出して来るものと予測されます。従いまして、私達の生まれ育った佐賀県も単に農業、考古学文化県に止まらず福岡の隣接県としてその役割は重要な

通じ人々の交流は一段と活発化が進み都市型ショッピングへ、或は余暇のリクリエーション、リゾートに相互利用の地域範囲として大きくクロージアップされ既に開通している両県南部の九州自動車高速道と相俟って「福岡・佐賀両県」の一体感の絆は益々大きくなるものと確信し、一層の発展を目指し会長として微力

お願い申し上げます

福岡市佐賀県人会



名誉会長
永倉 三郎

平成三年の新春のお慶びを申し上げます。会員の皆様方は新しい年を迎えられ、今年も更なる飛躍を目指してよいよい一九九一年に力強く踏み出されたものと存じ心から御祝辞申し上げ今後のご活躍を心からお祈り申し上げます。顧みみまするに、昨年は平和と豊かな社会作りを基本に期待していましたが、国際

感じが致します。私達の故郷佐賀県では、「一人一合食糧不足のソ連へ佐賀米を送ろう」運動が香月知事の音頭で県内一円に広がっています。これとて札幌医大が助けた「ソ連のコースチャ君」の話で人間にとって大切なのは「政治民族等でなく全世界の人々に愛を形で見せた暖かい唯一の例だと思います」廿一世紀まで

ローバル化を促進し世界情勢の中に即応できてこそ経済大国としての評価も頂けると考えられますが、結果は残念ながら期待どおりの成果が得られず未解決のまま新年を迎えるに至りました。今年の我が国の経済成長はある程度鈍化説が言われておりますが、これに加え中東湾岸危機が遂に一月十六日平和的交渉は決裂し

的にはソ連の一方独裁放棄と経済危機。東西ドイツ統一。中東イラクの湾岸危機等など、全世界あらゆる面で、画期的な変化の多くはまだ未解決のまま今年に持ち越し予断は許せない時期にあります。茲において比較的恵まれた私達が何か手を差しのべるものはないのか。日本政府のこれらに対応するのに些か歯痒い

後九年、我が国が世界で最も恵まれた国になった今日諸外国から称賛を得るぐらゐのボランティア国家になるようリーダーシップを発揮して貰いたいと念願致します。さて、私は昨年来提言してました「経済閉鎖のニッポンの壁」を取り除き日米関係の経済摩擦解消を基本に世界各国とのニーズに答えるには尚一段のグ

戦争に突入と世界中が最も心配していた事態に直面しその成り行きは全く不透明で世界中国を飲んでその成り行きを見守っている次第です。この事態は不吉な予測として第三次世界大戦の様相を呈し石油供給危機はもとより原油価格も混乱を極めるものと全世界がこの不幸なでき事に対処の術なくただひたすらに指導国

家が良識をもって、早期和平の道を選ばれるよう念願する次第であります。従いまして、我が国並びに九州福岡の基本諸産業の盛衰とこれに伴う経済活動の推移は極めて予測困難の時期でありますので、福岡経済圏の中で活動されます佐賀県人会の皆様には充分景気動向を把握されそれに即した企業施策を模索し私達県人会員は情報の交換はもとよりお互いに協力しながら、この難局を頑張って行こうではありませんか。今後の経済情勢は極めて厳しい経済変化の兆しが見えますので即時それに対処する手段を常に念頭に置きながら特に金子会長のものと皆様共に手を携え益々のご発展を祈念し新年のご挨拶を申し上げます。



名誉会長	永倉 三郎
会長	金子 宜嗣
副会長	筒井 寅吉
代表理事	溝上 嘉幸
常任理事	無津呂繁美
理事	原 進
監事	久保 悦次
事務局	落合 良太

昭和十七年十一月佐賀のチベットといわれる神埼郡三瀬村にて生を享けズボラな親父に紀元節をひっくり返した元紀で今日まで名乗り続けています。故郷には老婆が健在だし、親類縁者友人も沢山いますのでチヨク／＼帰省はしております。

やはり中学卒業まで十五年間をシッカリ遊んだ山や清き水の流れる脳裏を離れそうに

活躍する
佐賀県人
たち

昨年四月、広島から福岡に転動しました。

広島には九年間勤務、四〇才代を過ごした広島は私の「第二の故郷」。社会人として、企業人として、育ててくれました。

新幹線開通により、広島と博多は時間的に近くなったが、距離的にはやはり遠い。

気候も違う 言葉も違う 考え方も九州人とは違う。端

三伸機設株式会社
昭和メンテナンス工業株式会社
代表取締役 村上 元紀さん
(三瀬村出身)



ありませぬ。鳥栖工業高校を卒業と同時に佐賀の大先輩が創設された(株)西島製作所でポンプ製作に携り、二年間の本社勤務を経て、九州営業所で水にかかわって参りました。その間徐々に

ではあるが水の汚染に出逢い将来への禍根を除去すべく一念発起独立して水に取り組む事とし、ポンプとその付属機器の据付け業として昭和四十八年三伸機設(株)を設立しました。又日本

松尾建設株式会社
福岡支店長
橋村 俊久さん
(鹿島市出身)



的に言って、「東京志向」しかし、九州を充分に意識している。

広島には「流川」博多には「中洲」、相模の九州場所、広島には「広島カープ」

優勝経験あり
福岡に「ダイエーホークス」優勝？……
広島は四年後のアジア大会開催で、その整備に丸と

それも九州に先んじてやろうとする意志の表れ。

福岡にオリエンティックを。

広島には、国際空港建設中。我が故郷 佐賀にも、一日も早く空港を！

中国経済、九州経済共々、切磋琢磨して繁栄することを祈りたい。

(中央区薬院三十四・九松尾建設株式会社) 521・6761

の処理水処理メーカー(株)と提携上下水の水処理設備をも手がけ、はた又昭和五十一年には昭和メンテナンス工業(株)を設立高度水処理設備の予防保全に留意し、佐賀東部地区並びに福岡県南部地区の浄水製造に微力を尽くしております。

以上の如く私のこれまでの半生は水との付き合いで明け暮れた感があります。想えばこれも幼い頃清流に親しんだあれやこれやの為せる業かと考えております。恐らく今後水との関わりの中で頑張っていくことでしょう。

SERA

翼をひろげ、異次元へ誘うその姿は
時代のNEXTを告げる予言車です。

TOYOTA
トヨタオート福岡株式会社

本社 福岡市博多区竹下2丁目2番31号 ☎(092)411-5511代

私の履歴書

(株)上電機製作所 福岡営業所

所長 松永 守氏

昭和八年二月二十四日
三養基郡三根町に八人兄妹の三男坊として生をうける。
入籍……大川 守

昭和十四年四月一日
三川村立尋常小学校へ入学
(正確には二年生より通学)
「小児じんぞう」で、ピカピカの一年生の筈が暗い一年生で自宅療養

昭和二十年四月一日
県立鳥栖工業学校 電気科へ入学する。

B-29、ロッキード、グラマンの飛び交う中で、オームの法則だけ習得4円90銭の授業料を納付して動員、開塾に明け暮れる。

昭和二十二年四月一日
6・3・3制により併設中学校となる。

ラクビー部に入部し楯円球を追ひ廻し、騒々しい世の中より逃避

昭和二十三年四月一日
県立鳥栖工業高等学校電気科に編入する。
勉強+ラクビー+通学=18時間/1日消費する。

昭和二十六年四月一日
(株)上電機製作所 本社工場に入社

昭和二十六年十月
※秘密裏に八幡製作所を受験、合格
鳥栖工高より呼出しをうけ、後輩の戸上電機入社を継続させるため転職許可せず……叱責により断念

昭和二十八年十月
松永家へ養子縁組整い結婚



定着する。
(米糠三俵不足のため養子となる) 入籍……松永 守

昭和三十二年八月
営業部福岡営業所へ転勤
オートメーション技術の普及でエンジニアセールの普及となる。

御多分に洩れず転勤に次ぐ転勤。
宇部・岡山・広島・大阪再度振出し福岡へ

昭和五十三年十月
福岡営業所長として赴任、現在に至る。

《現在の雑感》
先づこの世に生をうけた事に神、仏、祖先に感謝します。小学校六年分を五年間で教え

先輩の公私に亘る指導、営業上の顧客の理解と協力。
以上を支えて頂いた友人、親、兄妹、妻子に對しひたすら感謝しております。

★好きな言葉

六方 礼 拜 合 掌

(中央区天神四一三・三〇)
(株)上電機製作所福岡営業所



て頂いた先生、空襲による死の恐怖。進駐軍の開放的考え、東条英機の教育の厳しさにたいする反省。食料不足による食べ物の有難さ、ラクビーによる気力、体力の限界把握、入社後の上司、

昭和セントラル株式会社

〒810 福岡市中央区天神4丁目1番6号 昭和セントラルビル
総務部 TEL 092(761)6085代
情報システム部 TEL 092(761)6082代
〒810 福岡市博多区中洲5丁目5番13号 KDD福岡ビル
営業システム部 TEL 092(272)3211代
医療システム部 TEL 092(272)3211代
システム技術部 TEL 092(272)3011代
システム開発部 TEL 092(272)3011代

佐賀県立佐賀工業高等学校の沿革のあらましを記しますと明治三十一年三月県令を以て設立され四月一日より開校の旨公布されています。同年五月十四日佐賀市松原町協和館の仮校舎で授業開始となる。三十二年三月佐賀市水ヶ江町に新校舎落成し移転する。三十三年四月西松浦郡有田町に分校を設け窯業科を置く。三十六年四月有田分校独立する。

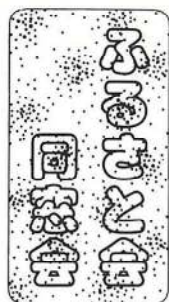
三十九年佐賀県立商船工業学校分校と改称される。四十三年佐賀県立商船学校の独立に伴い佐賀県立佐賀工業学校と改称する。大正七年十二月創立二十周年記念として卒業生一同より平屋一棟を寄贈される。昭和十一年現在地の上多布施町へ新築移転する。昭和十六年十二月戦争の背景に依る繰上卒業となる。そして昭和二十年、私共は神野公園横の日東航空機工場で海軍機のB七型の尾翼の製作で動員中、空襲警報が鳴り佐賀近郊は米軍のグラマン機や双胴型のカーチスP25の機銃掃射を受け、それを逃れる為に多布施川の大きな松の木を楯に折っていました。

創立百年に向け頑張っております

佐賀工業高等学校 同窓会福岡支部

大嶋 賢 吾

旧44回(昭21卒)



運命の日、八月十五日は自宅で父親と防空壕を掘っていました。正午に終戦を知らされました。この様な大変な出来事もいつの間にか今日の豊かな日々の流れに薄らいではならないと思っています。

昭和二十三年には創立五十年記念式典が挙行されました。昭和六十三年五月佐賀市内増田会館に於て創立九十周年記念式典が盛大に行われ今日に至っております。佐賀工業高等学校同窓会福岡支部は福岡市近郊在住者約八百名位で支部総会の出席者が百名未満と少々不足ですが他校先輩の方々のやり方を参考にせねばと思う次第です。ここに写っている写真は平成二年十月二十日の八仙閣での福岡支部総会の時のものです。この総会後は内藤新支部長でスタートしており期待しております。

私事ですが生れは神埼郡西郷村横武(現神埼町横武)の産です。

大阪へもうひとつの道 高速バス **サザンクロス博多** 号

博多(前原)発→大阪(なんば・堺)行

21:10発 → 翌日 7:00着

昭和バス前原予約センター

☎(092)322-2561

昭和自動車株式会社

●運賃

博多～大阪	
片道	9,450円
往復	16,800円
前原駅前～大阪	
片道	9,700円
往復	17,250円

ふるさとと首長



白石町
川崎修朗町長

緑あふれる万葉と ロマンの里をめざして

白石町は、「緑あふれる万葉とロマンの里」をキャッチフレーズにして、現在まちづくりに取り組んでおります。日本三大歌垣の一つである須古の歌垣山を中心に整備して、歌謡場、万葉の歌碑、万葉植物園を設け、歌垣公園から犬山岳(三四二メートル)へ向けて七八一階段の健康坂、登り終えると、そこには肥前犬山城(展望所)があります。ここからのながめは、町内はもろろ遠く福岡県、熊本県までも望めます。

また、農業基盤確立のための圃場整備が進み町内に緑が少なくなつたため、町花である花しょうぶを水路沿いに植栽し、毎年六月には町のしょうぶ園を中心に百数種類が咲きほこります。

町の中央には、平成二年度に中央公園が完成し町民に憩いの場を提供し、佐賀県の都市緑化祭も開催されました。そして、中央公園西側に南北約六〇〇メートルの万葉の路が完成まじかです。

このように、白石町は魅力あふれるまちをめざし、町民がみんな郷土を愛し、誇れるようなまちづくりを行っております。白石町出身の方はもちろん会員の皆さんも是非、万葉とロマンの里白石町へお立寄りください。



杵島山頂にそびえ立つ肥前犬山城

白石町は佐賀県の西南部、杵島郡の東部に位置し、西は杵島山を境に、北は六角川に沿い、東は有明海に面し、南を有明町と隣接して、白石平野の中心部を占めて、山、平

ん減少している。

交通は、長崎本線と国道二〇七号線が町の中央を走っている。

町の基幹産業は農水産業だが就業人口でみると、第三次

ふるさと紹介

白石町

づくりとして、杵島山の整備しようぶ園の整備といった魅力いっぱい事業を展開しています。白石町出身で現在町外に住んでおられる方が帰ってこられた時に楽しめるような町、またいろんな人に自慢できるような町、このような町を目指しております。

郷土の味としては、先ず、須古寿し、これは町全体の名物にしようと官民一体となつて取り組んでいます。他に、れんこん、玉ねぎ、海苔、ぶどう、いちご、わらすば等々多くあります。

また、祭・行事としては、八坂神社まつり (春2月、夏7月) 歌垣犬山城まつり (4月) しょうぶまつり (6月) 杵島山一文字焼 (9月) などがあります。



『手づくり郷土賞』に 有田町の『陶祖坂』 など三件

建設省が、地方自治体施行の優れた環境施設に贈る二年度の『手づくり郷土（ふるさと）賞』に、県下から『陶祖坂』（西松浦郡有田町）、『松原川ロマンティックエリア』（佐賀市、シチメンソウ・干潟の散歩道）（佐賀郡東与賀町）の三件が選ばれた。有田町は同賞創設以来、毎年受賞しており、今回で五年連続。七月十一日、北九州市であった『郷土づくりシンポジウム』の席上、表彰された。

佐賀新聞社会大賞

佐賀新聞社が地域社会で郷土づくりに貢献した団体・個人に贈る『佐賀新聞社会大賞』の今年度受賞者が決まった。県吉野ヶ里遺跡保存協力会会長で、三田川町商工会長の山田良輔さん（五七）＝神埼郡三田川町＝、熱気球大会をリードしたバルーンクラブ『ちがらす』（川副蕨会長）、地域

の福祉に活躍する県地域婦人連絡協議会（松本シゲノ会長）の一個人、二団体。表彰式は八月一日に行われた。

ムツゴロウ……

絶滅の心配遠のく

ムツゴロウの人工繁殖に取組んでいる県有明水産試験場（山下康夫場長）は九月、同水試前の六角川河口に稚魚一万二千五百匹を放流した。放流は今年三回目で、山下場長は「放流と禁漁区の設置などの保護策が功を奏し、一時の絶滅の心配はなくなった」としている。

柴田コレクション展

十七世紀半ばから十八世紀後半まで、約百五十年間の有田焼の流れが分かる、染付磁器を中心にした『柴田コレクション展』が、九月十五日から十月二十五日まで、有田町の県立九州陶磁文化館（田中

佐賀県だより

NEWS FROM SAGA

佐賀県だより

猛善館長）で開かれた。同コレクションは、江戸時代、有田で焼かれた柿右衛門様式の染付皿など組み食器を中心にした二千四百七十六点（千七百六十六件）で、二年春、千葉県の民間研究家が寄贈した。

名護屋城跡で薪能

国の特別史跡・名護屋城跡（東松浦郡西町）で九月十八日夜、『第一回本丸薪能（たきぎのう）』＝写真＝が開かれた。一流の狂言師や能楽師が演じる優雅な舞いに、三千人の観客が酔った。かがり火に浮かび上がった幽玄の世界は、桃山文化の再現となった。

町内の民間団体でつくる実行委員会（江口宗山委員長）が企画した。記録に、秀吉が朝鮮出兵の折、関西の役者を呼び集めて能を舞わせたことあり、四百年ぶりの復活。



巨木の里シンポ

巨木が取り持つ縁で、武雄市と宮崎県・椎葉村が共催した『巨木の里シンポジウム』が十月五日、武雄市民会館で開かれた。

石井・武雄市長が「自然に対する畏敬（いけい）の念こそが環境を守る原動力」とあいさつ。哲学者（国際日本文化センター所長）の梅原猛氏が「人間は生きていくために植物や動物を犠牲にしているが、限度を超えると危うい。」



二年度の佐賀新聞文化賞の贈呈式が十一月一日、佐賀市のホテルニューオータニ佐賀で行われた。文化賞は佐賀にわか筑紫美主子さん（芸術部門）、同人誌『城』主宰の田中伸太郎氏（本名・寿義雄、学術部門）、肝臓病学の佐賀医大教授の堺隆弘氏（同）で、奨励賞は映画評論で活躍している西村雄一郎氏（芸術部門）の計四人。

佐賀新聞文化賞

森の持つ意味、意義を見直すべきだ」と基調講演。パネルディスカッションを通して自然と人の「共生」について認識を深めた。

福岡日出磨氏が死去

元参議院議員で、全国商工連合会長を務めるなど、県内外で幅広く活躍した福岡日出磨氏が十月五日、心不全のため、佐賀市内の病院で亡くなった。八十歳。葬儀は同八日、佐賀市呉服元町の願正寺でしめやかに執り行われた。

佐賀郡川副町出身。福岡商會などの会社を設立、経営に当たる傍ら、業界の発展にも尽力。県議を経て、昭和四十九年から二期十二年間、参議院議員も務めた。勲二等瑞宝章受賞。県剣道連盟会長。

唐津に河村美術館開館

唐津市北城内に河村美術館が十一月二十七日オープンした。兵庫県芦屋市在住で、唐津市にゆかりのある河村晴生さん（六六）が私財を投じて建設した。青木繁、黒田清輝、岸田劉生らの日本近代洋画をはじめ、東洋、西洋の美術品、工芸品を展示している。美術館は敷地二千平方メートル、

鉄筋コンクリート二階建て、延べ床面積は千三百五平方メートル。一階はロビー、収蔵庫などで、二階が展示室。作品は約二百七十点。

入場料は大人五百円、大・高生四百円、中・小生二百五十円。

伊万里市区議補選

二議席を新人の保革五人で争った県議会議員伊万里市選挙区（定数三）補欠選挙は十一月二十五日に投、開票。前市議でドライブイン経営の有浦健綱氏（五五）＝保守系無所属、南波多町府招＝と、住職の荒木千秋氏＝同、東山代町＝の二人が初当選した。開票結果は次の通り。

当九五〇六 有浦 健綱 無新
当八六五六 荒木 千秋 無新
六七五五 池田 守生 無新
六四九一 松尾 正道 自新
一一三二 船津 勉 共新

バルーンフェスタ



晩秋の佐賀平野を舞台にした『90佐賀インターナショナル・バルーンフェスタ』が十一月二十日、佐賀市の嘉瀬川河川敷で開幕。翌二十一日から五日間、計九回の競技が繰り広げられた。写真

世界の十四カ国・地域から八十五機が参加。その結果、総合部門でオーエン・キオン選手（アメリカ）が優勝、レディース・ワールドカップは

リンゼイ・ミュール選手（イギリス）に贈られた。観客は延べ七十九万一千人に達し、バルーンの佐賀の定着を裏付けた。

新首長

- ▼北茂安町長（8月14日）岡村又一氏 67町長 当4
- ▼北方町長（9月4日）松本和夫氏 59町長 当5
- ▼三田川町長（11月27日）中島義昭氏 63町長 当2
- ▼脊振村長（12月16日）内村 茂氏 70村長 当2
- ▼上峰町長（3年1月13日）秋山 守氏 67町長 当4

井本氏が知事選へ

四選出馬を目指していた香月熊雄知事は十二月三日、正式に出馬を断念した。その理由として同知事は病氣と、自民党内の混乱回避を挙げた。代わって副知事の井本勇氏が立候補に意欲をみせ、辞職して自民党県連に推薦願いを



提出。同県連も井本氏を知事候補にすることを決めた。井本氏は唐津市生まれ。旧制武雄中卒。昭和二十二年に県庁入り。秘書課長、総務部長などを歴任。副知事は二期八年。六十五歳。出馬表明で『スピードイーな県政運営を目指す。二十一世紀に向け、竹に例えればしっかりと節が必要で、その節づくりが私の課題だ』と語った。

一方、共産党県委員会、知事選に前小城郡牛津町議の松尾義幸氏（四二）の擁立を発表した。

佐賀県だより

NEWS FROM SAGA

佐賀県だより



郷土の歳時記

- 二月
- 三日 佐賀神社節分祭
ファミリースポーツフェスティバル(東脊振村)
- 七日 七福神(千代田町姉)
- 十一日 大祭(佐賀市伊勢神社)
- 十三日 武雄観梅健康ロードレース大会(武雄市)
- 十四日 八坂神社春祭(白石町)
- 十五日 大般若(東脊振村修学院)
- 十六日 かせとり(佐賀市蓮池町見島)
- 十七日 花いり(鹿島市一円)
- 十八日 水かけ祭(千代田町大島)
- 十九日 的射祭(三根町宇佐八幡)
- 二十日 不動尊祭(北方町大聖寺)
- 二十一日 初庚申の日 見借庚申さん(唐津市見借)
- 二十二日 中旬 観梅祭り(武雄市)
- 三月
- 一日 はがま祭(鹿島市世間)
- 八日 鬼子母神祭(小城町光勝寺)
- 十五日 おかゆだめし(北茂安町千栗八幡宮)
- 十八日 おかゆびらき(川副町志賀神社)
- 二十一日 観光の日(武雄市)
- 二十六日 五百羅漢祭(相知町蔵野)
- 三十一日 曾根崎の獅子舞(鳥栖市曾根崎)
- 四月 旧一月十五日 厄神祭(唐津市湊八坂神社)
- 下旬 弥生祭り(鳥栖市)
- 一日 五日 川上峽鯉のふき流し(大和町)
- 一日 十日 国際アマチュア陶芸展(伊万里市)
- 第一土曜日 春雨まつり(小城町)
- 一日 五日 伊万里窯元市
- 四日 吉浦神社祭礼(嬉野町吉田)
- 初旬 吉田おやまん陶器まつり(嬉野町)
- 五日 おやまん祭(塩田町吉浦神社)
- 第一日曜日 牛原の獅子舞(鳥栖市)

- 真手野の舞浮立(武雄市)
- 武雄温泉春祭り
- 上旬 さくら祭り(鹿島市旭ヶ丘公園)
- 七日 八日 櫛田宮春祭(神埼町)
- 十日 十二日 日峰さん(佐賀市松原神社)
- 十六日 香椎神社春祭(久保田町)
- 十八日 多久聖廟祭(多久市)
- 二十日 西の宮社春祭(佐賀市北川副町)
- 第三日曜日 見帰りの滝ニジマス釣り大会(相知町)
- 二十九日 五月五日 有田陶器市
- 下旬 新兵衛まつり(嬉野町上不動)
- 下旬 五月五日 つつじ祭り(鹿島市祐徳稲荷神社)
- 五月
- 旧四月十五日 七月十五日 出水法要(白石町須古)
- 一日 御田祭(芦刈町乙宮神社)
- 上旬 兵庫まつり(東脊振村)
- 聖茶祭り(東脊振村)
- 献茶祭(嬉野町)
- 二日 四日 脊振神社弁財天まつり(脊振村)
- 二日 五日 新茶まつり(嬉野町)
- 四日 陶祖祭(有田町)
- 五日 つつじまつり(伊万里市竹ノ古場公園)
- 五日 鹿島ガタリンピック(鹿島市)
- 第四日曜日 カヌーマラソン(神埼町)
- 中旬 六日 エッソー(諸富町)
- 下旬 六月上旬 ホタル祭(小城町)
- 中旬 六月中旬 肥後葛蒲見頃(伊万里市清水花葛蒲園)
- 江戸葛蒲見頃(大和町中央公園葛蒲園)
- 六月
- 一日 山登り(有田町)
- 第一土、日曜日 呼子の綱引(呼子町)
- 第二土、八月第二土曜日 銀天夜市(佐賀市)
- 二十四日 七月一日 見帰りの滝あじさい祭(相知町)
- 三十日 佐賀神社夏越し祭(佐賀市)
- 下旬 全国田植大会(西有田町)

このごろ 私は

あいたんもんばあんだー

百田 稔さん



県人会の皆様、明けましてお目どう御座居ます。小生、昭和32年4月より福岡へ転勤し現在に至っております。相変わらずクラシック有田弁の毎日です。佐賀銀行さんの肝入りで結成された『三水会』も今年の4月で丸3年と相成りました。キサンナモンナタリ(早いもんですわ)現在加盟法人33社です。各社の情報交換と親睦及び佐賀県が雄県としての発展を遂げる為のお



互い努力の確認等致して居ります。アイタンモンだから三水会と書く時によく山水会と書き違えたりしてヤツパイ茶碗屋ニヤーと苦笑する事、屢々です俗に言う『石の上にも三年』ですが未だ大した事は致して居りませんが、これからの活動に対しては、皆様の多大なる御力添えを期待する所です。然し福岡にきて郷土の企業に對し不勉強の点が多々有った事は毎月会員の皆様とお会いしてみて、つくづくと思ひ知らされました。昨年は途中小生病入院ややらで大変御迷惑を御掛けしましたが今年はスツカリ元気になりましたので昨年の分まで頑張りつもりです、宜しく御後援の程、御願ひ致します。(福岡市博多区須崎町3番24号、香蘭社陶磁器販売株式会社福岡店常務取締役店長、☎271・2131、有田工業窯業料昭和十九年卒)

帰省とお礼

前福岡市佐賀県人会事務局
江頭清次郎さん



私は社命により昨年5月から、出生地唐津に転勤となり、20年振りに故里に帰り、停年までの余責を精一杯頑張っております。在福岡中は福岡市佐賀県人会事務局で末席にて会員皆さまからご鞭撻ご厚情を賜わり微力ながら約7年間過ぎさして頂き、偏に皆さまの

で伊万里・佐世保方面にお出掛けの節は是非お立寄り下さい。番茶・松露饅頭ぐらいでお待ち申し上げます。末筆ながら今後ますます会のご発展と会員皆さまのご健康をお祈りしつつご無礼いたします。唐津市和多田西山六一五〇、昭和商事株式会社唐津支店取締役支店長

古賀 浩輔さん



「よか、よか、よか」の快いイントネーションの太らかで包容力のある言葉に馴れ親しんで早や六年。大都会にない、スローな人の歩き、バス網の発達した交通体系等々福岡独特の良さがこの地には残されているが、この二、三年急速にミニ東京文化が進むと共に地方の風習、文化、方言が失われていくものであるが、福岡はその例にもれればと思う。

市内及び周辺道路において御多分にれず、車の洪水の中、数珠つなぎの車と車の間をアクロバットよろしく、この道路は、車優先ではなく、人間優先だと主張するが如く、横断するのは大都会ではなくなりつつある人間優先の思想のあらわれであると思えてならない。一極集中化が進み天神地区の再開発、ツインドーム建築等の開発計画の目白押しの中、福岡の自然、人間的なふれ合い、暖みが失われないうち願う今日この頃である。(城南区鳥飼四一三三七へさとのビル) ☎サン海苔福岡営業所、☎851・5625

会員・支部の動向を

ご連絡ください
人事異動や慶弔行事、親ばくの集い——いろいろあつてのことだと思ひます。

掲載期日がおくれるので、ご不満はあるかと思ひますが、会員相互の消息を知りあうためにも、ぜひ、連絡をお願いいたします。

また、地元や職場でもいろいろニュースがあつたときもお知らせください。楽しい紙面づくりのために協力をお願いいたします。

新会員ご紹介

(敬称略・氏名・連絡先・電話番号・職業・出身地の順)

宮崎 慶一

ふそう自動車販売(株)▽唐津市
詫間 澄江

人紹介所▽佐賀市
岸川 高義

ーヨー(株)▽江北町
宮崎 敏

海町
古川 英子

(株)▽唐津市
近藤 英徳

TT▽伊万里市
成富 正子

▽サロンドベ

つぴん▽大町町
原口 佐七

福岡県連▽伊万里市
船津 秋男

設計事務所▽鳥栖市
北川 勝義

理事事務所▽武雄市
馬場崎武三

大同生命保険▽佐賀市
西山 尊教

産▽白石町
川崎 正春

町
塚本 満雄

▽相知町
中村 健

福岡県国際交流センター▽浜
玉町

佐伯 直孝

津市
▽日興証券▽唐

西村 喜雄

相知町
大坪 悟

振村
福山 喜徳

町
貞方 弘道

支店▽多久市
橋村 俊久

支店長▽鹿島市
▽松尾建設(株)福岡



会員の作品を

お待ちしています

「会報むつごろ」の紙面を通じて、相互交流を深めましよう。

創作、随想、釣り自慢、レジャー紀行文、短歌、俳句、子供たちの作品、サークルの発表会——なんでも歓迎しています。

絵画、書、造形作品などの場合は写真をお送りください。おまちしています。

投稿作品には、テーマ、住所・氏名・年齢・職業(学校・学年)出身地を記入してください。

また、要点、連絡先を電話いただくのも結構です。のちほどこちらから「取材」いたします。

入会の勧め

県人会では毎年恒例の行事として、年度総会および懇親会を催し、会員が親睦、交流を図っています。また会員には年二回発行の「会報むつごろ」をお届けします。未加入県出身者に入会を勧めて下さい。入会あるいは紹介の問い合わせは、下記の県人会事務局へどうぞ

編集デスク

平成三年の新春号をおとどけいたします。

毎号、原稿集めには役員・会員の皆様にご協力をいただき感謝申し上げます。特に佐賀新聞社提供の「佐賀県だより」は盛沢山の記事を読みたい故郷の出来事を知ることが出来ありがたいございます。世界情勢のあわただしい中にも故郷で静かな正月を過ごすことが出来、平和の有難さを感じたことでした。新しい年が会員の皆様にとりまして素晴らしい年であります様お祈り致します。(T)

会報むつごろ

平成3年1月31日 発行

福岡市佐賀県人会

(発行責任者 溝上 嘉幸)

福岡市中央区天神4丁目1-6

昭和セントラルビル内(T810)

☎ 092-761-8253

制作 (有)タナカ製本印刷所

☎ 0955-23-5214